

所 属	健康福祉部 保健医療課		
担当(係)名	感染症対策担当	内線	2543

新型インフルエンザ対策の充実

1 事業費 392,761 (284,945 → 677,706)

【財源内訳】 【主な用途】

国庫 392,757 需用費 366,321 (抗インフルエンザ薬購入等)
 諸収入 4 負担金、補助及び交付金 24,500 (サーベイランスシステム構築)

2 背景・現状

新型インフルエンザ等の感染症対策には、迅速・的確な発生動向の把握が不可欠であり、病原体情報等を含めたサーベイランス体制を構築することが課題である。

抗インフルエンザ薬については国の行動計画の改定により、21年度からの3年間で追加備蓄の予定であったが、国内での発生状況から早急な追加備蓄が必要である。

また、入院協力医療機関に対しては、平成20年度に感染対策として人工呼吸器、個人防護具の整備に対して補助金を交付しているが、個人防護具については、医師・看護師以外の従事者への整備も必要となっている。

3 事業目的

日常からの感染症の発生動向を把握し、迅速・的確な対策を講じるため、リアルタイム感染症サーベイランスシステムを構築するとともに、情報の解析・評価機能を強化した感染症情報センターの整備を図る。

抗インフルエンザ薬について、平成22、23年度予定分を前倒して備蓄することで、秋以降懸念される発生の拡大・流行に対応し、社会機能の維持、経済損失を防ぐ。

入院協力医療機関に対しては、医師・看護師以外の従事者、受付事務を行う者への必要な個人防護具の整備を行い、円滑な医療提供体制と病院機能維持を図る。

4 事業内容

(1) リアルタイム感染症サーベイランスシステム等の整備 (26,500千円)

リアルタイム感染症サーベイランスシステムを構築するとともに、解析・評価機能を強化した感染症情報センターを整備する。

(2) 個人防護具の備蓄 (51,660千円)

新型インフルエンザ発生時に入院医療を担当する医療機関の医師・看護師以外の従事者の個人防護具(18,450セット)を整備する。

(3) 抗インフルエンザウィルス薬の備蓄 (314,601千円)

タミフル142,500人分、リレンザ14,500人分を追加備蓄する。

(平成21年度合計 タミフル213,800人分、リレンザ21,800人分)

(款) 4 衛生費	(項) 4 保健予防費	(目) (2) 感染症予防費
(明細書事業名) ○防疫費		○特定感染症対策費
	防疫対策費	感染症予防対策費